

ワールド航空サービスの「サステイナブルな旅づくり」にご協力ください

旅好きの皆様・ビジネスパートナーの皆様に永きにわたり愛され、ご支援をいただいた「ワールド航空サービスの旅」。

その旅づくりの哲学は、訪問地の文化や歴史を学び、そして気候と風土と優しく触れ合うこと。

ツーリズムの健全な発展を求め、訪問先の国や地域の人々とワールド航空サービスを愛してくださる皆様が、ともに喜びを分かち合える、持続可能な、環境保全に配慮した、より魅力ある旅づくりに励みます。

お客様にお渡しする旅行グッズなども環境に配慮しています。

これまで海外旅行にご参加いただいたお客様に、資料発送時にお送りしていましたA4サイズのプラスチック製ファイルや、スーツケースのタグを環境配慮への取り組みとして、これまでのプラスチック製から素材を見直しました。環境負荷を低減する植物由来樹脂を一部配合したフィルムを使用。破れにくく、水をはじく素材です。印刷はベジタブルインクを使用。小型化し、2つ折りで旅のしおり等の持ち運びにもぴったりのサイズにしました。



●この画面は、旅行業法第12条の4による取引条件説明書面及び旅行契約が締結された場合は同法第12条の5により交付する契約書面の一部となります。お申込に際しては別途交付する旅行条件書(全文)をご確認の上、お申込みください。

ご旅行のご案内とご注意・条件(抜粋)

●旅行契約の成立
旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

●旅行代金のお支払い
旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。

●お支払い対象旅行代金
「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行代金に含まれるもの
(1)パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。
① 運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。)
② 送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金
③ 宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合を基準にします。)
④ 食事の料金(機内食は除く。)*及び税・サービス料金
⑤ 添乗員等(企画旅行に同行して旅程管理業務を行う者等)が同行するコースにおける添乗員等の旅行費用
⑥ 観光に伴うガイド料金、観光施設の入場料等
⑦ 航空会社等が定める個数・重量の無料手荷物許容量の範囲内の受託手荷物運送料金
⑧ 団体行動時の必要な心付け
⑨ 旅行日程中の海外の空港税、通関税、同空港利用料
⑩ その他パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したもので、前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用されなくても払戻しの対象外となります。

●旅行代金に含まれないもの
上記以外は旅行代金に含まれません。その一部を例示します。
(1)超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超えるものについて)
(2)個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金
(3)渡航手続関係諸費用(旅券印紙代・査証料・予防接種料金・渡航手続代行料金)
(4)お1人部屋を使用される場合の「1室1名利用追加代金」
(5)日本国内の空港施設使用料、国際観光旅客税
(6)港湾利用料、政府関連諸税等
(7)燃油サーチャージ(旅行契約成立後に増額された場合は、増額分の差額は徴収し、また、減額・廃止された場合は、減額分は、払戻しをいたします。)

●お部屋について
(1)部屋割りは、原則としてホテル又は船会社が予め定めております。また、ホテルや船室では部屋により調度品や広さが異なる場合があります。当社ではバスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各

地域の特性や施設の事情によりジャワーのみとなる場合があります。
(2)可能な限り2人用の客室にはシングルベッドが2台の「ツインベッドルーム」をご用意いたしますが、ホテルによっては、「ダブルベッドルーム」に2台目のベッドとして簡易ベッドを入れてご利用いただく場合もございます。また、ご夫婦でご参加の際は、「1ベッドタイプ」で大型ベッド1台のみのご利用となる場合があります。(なお、「ツインベッドルーム」には2つのベッドマットが1つの枠の中に入っている「ジャーマンツイン」の客室、2つのベッドのサイズや種類が若干異なる客室も含まれます。)

※ホテルの★の数の記載に関して
弊社では、これまで各国の正式な評価基準に基づき、利用ホテルの★の数を記載してまいりました。しかしながら、昨今は欧米の大手ホテルチェーンであっても未登録のホテルが増えてきていること、★の数が必ずしもホテルの品質を担保するものではない現状を鑑み、ホテルの★の掲載を取り止めております。なお、これまで通りツアー内容やコンセプトに合わせて可能な限り快適なホテル選定を心がけております。

●クルーズ旅行における寄港地上陸観光
船のスケジュール及び上陸観光地は乗客の安全を最優先と考え、天候やその他現地事情により、船長の判断によって予告なしに変更されることがあり、その権限は船長が持っています。また、その変更による払戻しはございません。

●航空機について
座席配列により、グループ・カップルの方でも隣り合わせにならない場合があります。なお、窓側・通路側のご希望は、すべてのご希望をかなえることは不可能ですので、ご容赦ください。

●時間帯の目安について
当社は、原則として時刻を記載した日程表を交付しておりますが、地域により時刻を記載できない一部の日程表については、下記の時間帯で表記します。

04:00	08:00	12:00	16:00	18:00	22:00
朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜

●日程表中のマークについて
■観光について：●＝入場観光 ○＝下車観光 ㊦＝ユネスコ世界遺産
■お食事：■＝朝食 ㊦＝昼食 ㊦＝夕食 ㊦＝機内食 □＝食事なし ㊦＝軽食(通常よりもお体にやさしい軽めの食事です)
■乗り物：✈＝航空機 ㊦＝バス ㊦＝列車 ㊦＝自動車 ㊦＝船 ㊦＝ロープウェイ

●本パンフレットの掲載写真と地図について
パンフレットには、よりお客様に訪問地のイメージを掴んでいただけるよう、ツアーに即した写真を掲載するように努めておりますが、必ずしも同じ角度や高度でご覧いただけるという保証ではございません。また、掲載しております地図は、おおよその位置関係と宿泊地、訪問地を示し、イメージを掴んでいただくためのものです。

●旅行契約の解除・払戻しについて
旅行契約が成立した後(以下)の区分により定められた取消料をお支払いいただくことにより、お客様は旅行契約を解除することができます。

旅行契約の区分	適用する取消料
日本出国時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外を出发地及び到着地とする募集型企画旅行契約(貸切り航空機を利用するコースを除きます。)	<表1>
日本出国時又は帰国時に貸切り航空機を利用する募集型企画旅行契約	当該パンフレット等に別途明示する取消料によりします。
旅程中に3泊以上のクルーズ日程を含む旅行でパンフレット等に別途明示があるもの	当該パンフレット等に別途明示する取消料によりします。
日本発着時共に船舶を利用する募集型企画旅行契約	当該船舶に係る取消料の規定によりします。

<表1> 日本発着時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外を出发地及び到着地とする募集型企画旅行契約

旅行契約の解除期日	取 消 料
旅行開始日がピーク時の旅行である場合であって、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目に当たる日以降31日目に当たる日までで解除するとき	¥30,000 お支払い対象旅行代金 30万円未満のときは10%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目に当たる日以降21日目に当たる日までで解除するとき	¥50,000 お支払い対象旅行代金 25万円未満のときは20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目に当たる日以降3日目に当たる日までで解除するとき	お支払い対象旅行代金の20%
旅行開始日の前々日に当たる日から当日(旅行開始前)までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の50%
旅行開始後に解除するとき又は無連絡不参加のとき	お支払い対象旅行代金の100%

(注1) 旅行契約解除の申出は、当社の営業日の営業時間内をお願いします。当社の営業日の営業時間、連絡先(電話番号等)及び連絡方法は、お客様自身でもお申込時に必ずご確認ください。
(注2)「ピーク時」とは、12月20日から1月7日まで、4月27日から5月6日まで及び7月20日から8月31日までをいいます。
(注3)<表1>の「お支払い対象旅行代金」とは募集広告又はパンフレット等に「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行条件・旅行代金の基準
ご旅行条件につきましては、このパンフレットに記載しました契約内容・条件の他、旅行条件書(全文)、確定書面(最終旅行日程表)及び当社の旅行業約款によります。ご旅行条件は、2024年9月1日現在の運賃・料金を基準としております。

旅行企画・実施 **ワールド航空サービス**

WEBもどうぞ **ワールド航空** **検索** <https://www.wastours.jp>

営業時間 / 月曜日～金曜日 午前9:30～午後5:30(土・日・祝は休業)

ボンド保証会員 **旅行業公正取引協議会 会員**

- ☐ **東京支店** **TEL : 03-3501-4111**
東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリビル 4階 〒100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩
- ☐ **大阪支店** **TEL : 06-6343-0111**
大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル29階 〒530-0001 総合旅行業務取扱管理者 信濃 貴宣
- ☐ **名古屋支店** **TEL : 052-252-2110**
名古屋市中区栄3-14-7 RICC栄8階 〒460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範朗
- ☐ **九州支店** **TEL : 092-473-0111**
福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多信成ビル2階 〒812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 咲子
- ☐ **札幌支店** **TEL : 011-232-9111**
札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 〒060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智
- ☐ **藤沢支店** **TEL : 0466-27-0111**
神奈川県藤沢市藤沢484-1 藤沢アンパビル 3階 〒251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。 (株)ワールド航空サービス観光庁長官登録旅行業201号



WORLD
東京・関空発

2025・4月25日～5月4日出発
絶好のお休みに世界各地へ、
この時期ならではの特別感のある旅をそろえました。

ゴールデンウィークの旅
全30コース

ヨーロッパ・中南米・オセアニア・アフリカ・アジア・クルーズ



ベネチア周辺の珠玉とラグーナの島々

13世紀以降、海洋貿易を支配し繁栄したベネチア共和国。ベネチア風情を感じるムラーノ島にあえて連泊し、本島やブラーノ島など、ラグーンに浮かぶ島々を巡り、芸術、歴史、自然の魅力を楽しめます。



東京支店 鈴木 洋

連泊で楽しむシチリア島探訪の旅

歴史、自然、町並み、そして食と変化に富んだ魅力を持つシチリア島。厳選した3都市で連泊滞在とし、旅情豊かな陽春のシチリア島を満喫してください。小さな町々も丁寧めぐります。



西日本営業統括支店長 柴尾祐樹

ハルツの森ゴスラー 4連泊と「ハンザの女王」リューベック3連泊の旅

白黒の木骨組みの家並みが美しいハルツの森に佇む町ゴスラーと、中世ドイツの商業を支えたハンザ同盟の盟主リューベックに連泊し、旬のホワイトアスパラガスを食す、この時期限定のツアーです。



東京支店 酒井康行

コソボ・アルバニア・北マケドニアの旅

ヨーロッパの新星国コソボ、「東欧の孤児」の異名を持つアルバニアなど個性的な3か国を巡ります。1日の移動時間はできるだけ短くし、各国の見所をしっかりご覧いただける日程にしました。



東京支店 桂 智洋

ヨーロッパとアフリカ、二つの大陸を巡るオーシャン・マリーナの船旅

バスタブ付きの人気美食客船にて、クルーズならではの港町を巡ります。上質な船内ライフと陸路ではなかなか訪れることのない珍しい寄港地観光をぜひお楽しみください。



東京支店 太田勇樹

蘇った阮朝宮殿とホイアン街歩き

ベトナム最後の王朝、阮朝の王宮、キエンチュン宮殿が2024年2月、70年の時を経て一般公開されました。壮麗な宮殿を見ながらのティータイムも楽しむ特別プログラムもお楽しみください。



東京支店 福森 崇

ボルネオ島・大自然の旅

標高4,095メートル、マレーシア最高峰のキナバル山に抱かれたサバ州。世界最小のランの花があったかと思えば、世界最大の花ラフレシアも咲く豊かな植生も見どころ。世界遺産の豊かな大自然を堪能いただけます。



東京支店 吉田義和

パンジャブの黄金寺院とヒマラヤ高原 避暑地の旅

標高2,000メートルで夏でも涼やかなシムラーは、イギリス統治時代から避暑地として整備されてきました。世界遺産にも登録されている高原鉄道「カルカ・シムラー鉄道」乗車や、名門オペロイ・セシルの連泊滞在で優雅に訪れます。



東京支店 相澤満弘

ツアーラインナップ

2025年ゴールデンウィークの旅30コースを発表しました。2025年は4月26日(土)、27日(日)と29日(火・祝)に平日1日が挟まれ、5月3日(土・祝)～6日(火・振)の4連休に平日3日が挟まれる飛び石連休。ワールドならではのこだわりの行程でご案内する、人気のツアーを取り揃えました。世界的な航空機・ホテル需要の高まりはますます加熱しておりますので、お早めにご検討いただければ幸いです。

掲載 ページ	出発日／帰国日		日数	ツアー名
	2025年4月	2025年5月		
	25 _金 26 _土 27 _日 28 _月 29 _祝 30 _水 1 _木 2 _金 3 _祝 4 _祝 5 _祝 6 _重 7 _水 8 _木 9 _金 10 _土 11 _日			ヨーロッパ
3			9	古都ヴェローナとベネチア・ラグーナの島々
4			9	パルマとフィレンツェ 2都市滞在の旅
5			9	【関空発】連泊で楽しむ シチリア島探訪の旅
6			9	マドリッドとバルセロナ スペイン二大都市滞在の旅
7			8	オランダ・ベルギー古都の旅
8			10	ハルツの森ゴスラー 4連泊と「ハンザの女王」リューベック3連泊の旅
9			9	美しきスロベニア・クロアチア・モンテネグロの旅
10			9	コンボ・アルバニア・北マケドニアの旅
	25 _金 26 _土 27 _日 28 _月 29 _祝 30 _水 1 _木 2 _金 3 _祝 4 _祝 5 _祝 6 _重 7 _水 8 _木 9 _金 10 _土 11 _日			中南米
11			12	雄峰フィッツロイとパタゴニア大自然の旅
	25 _金 26 _土 27 _日 28 _月 29 _祝 30 _水 1 _木 2 _金 3 _祝 4 _祝 5 _祝 6 _重 7 _水 8 _木 9 _金 10 _土 11 _日			オセアニア
12			8	ポリネシアの楽園 タヒチ島とモーレア島の休日
	25 _金 26 _土 27 _日 28 _月 29 _祝 30 _水 1 _木 2 _金 3 _祝 4 _祝 5 _祝 6 _重 7 _水 8 _木 9 _金 10 _土 11 _日			アフリカ
13			9	不思議の国 マダガスカルの旅
	25 _金 26 _土 27 _日 28 _月 29 _祝 30 _水 1 _木 2 _金 3 _祝 4 _祝 5 _祝 6 _重 7 _水 8 _木 9 _金 10 _土 11 _日			アジア
14			6	インドシナ最高峰の絶景と高原サパの優雅な休日
15			6	高原の避暑地グラットとハロン湾の旅
16			6	祈りの国ラオス ふたつの絶景とコロニアルホテルの旅
17			6	ボルネオ島・大自然の旅
18			7	魅惑のマレーシアとっておきの休日
19			6	ジャワ島横断とコロニアルホテルの旅
20			7	未知なる国 東ティモール探訪の旅
21			8	タジキスタン周遊とテルメズの旅
22			7	【関空・福岡・中部・新千歳発】アルティンエメル国立公園とチャリン・キャニオンの旅
23			8	【関空・福岡・中部発】春の天山山脈 花盛りの中央アジアを訪ねる旅
24			9	【関空発】隊商の道 サマルカンド・ブハラ・ヒワの旅
25			10	ヒマラヤの禁断の王国・ムスタンへの旅
27			8	パンジャブの黄金寺院とヒマラヤの高原避暑地の旅
28			6	ムガールの絢爛 ムガル帝国の美の遺産を訪ねて
29			8	南インド・圧巻のヒンドゥー建築とコモリン岬の旅
30			8	インダス上流の小チベット 下ラダック・上ラダックの旅
31			8	スリランカ名作ホテルと世界遺産の旅
32			8	躍動のベンガル・新バングラデシュの旅
	25 _金 26 _土 27 _日 28 _月 29 _祝 30 _水 1 _木 2 _金 3 _祝 4 _祝 5 _祝 6 _重 7 _水 8 _木 9 _金 10 _土 11 _日			クルーズ
33			10	西地中海の港町 オーシャン・マリーナの船旅

燃油サーチャージ込み「ジ・オペロイ・セシル」に2連泊

パンジャブの黄金寺院と

ヒマラヤの高原避暑地の旅 8日間



シク教の総本山 黄金寺院

ここにご注目。旅のポイント

- ① シムラーでは由緒あるホテル「ジ・オペロイ・セシル」に連泊。世界遺産の鉄道乗車をお楽しみください。
- ② アムリトサルでは「黄金寺院」とともに国境閉鎖式を見学します。
- ③ ダライ・ラマ十四世が亡命生活続けるダラムサラに連泊します。

ツアープランナーより

インド北部、パキスタンと国境を接したパンジャブ州とヒマラヤ山麓のヒマーチャルプラデシュ州を巡ります。アムリトサルではターバンを頭に巻いた姿で知られるシク教の総本山、まばゆいばかりの「黄金寺院」を見学。一転、ダライ・ラマ十四世の亡命拠点であるダラムサラでは、チベット仏教寺院にご案内します。さらにシムラーでは、英国統治時代の館を改装した「ジ・オペロイ・セシル」に連泊し、世界遺産の山岳鉄道トイトレインに乗車。車窓風景を満喫します。新たなインドの姿に会える、実に見どころに富んだ行程です。季節はインドの暑さがピークを迎えようとする頃ですが、イギリス人の避暑地だったシムラーなど涼やかな気候の中で旅をお楽しみいただけます。

ツアーの見どころ

シムラーでは由緒あるホテルに連泊。世界遺産の鉄道乗車をお楽しみください

シムラーでは、建造当時の英国風の内装が特徴的なリゾートホテルに連泊。滞在中にはナローゲージ(狭軌)を走るかわいらしい「トイトレイン」に乗車します。のどかな車窓風景をお楽しみください。



シムラー駅から世界遺産の山岳鉄道の旅に出発(イメージ)

アムリトサルでは「黄金寺院」とともに国境閉鎖式を見学します

純金で覆われ、日射しに燦然と輝く「黄金寺院」の迫力ある姿を目の前にしていただけます。また国境の町ならではのイベントで、歓声に包まれるインドとパキスタン両国の国境閉鎖式をご覧ください。



印パ国境を閉じるセレモニーは、毎タ行われます(イメージ)



利用予定航空会社：マレーシア航空		ツアーコード：IN903T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【成田空港集合・8日間】 5月3日(土)		エコノミークラス利用 ¥428,000	ビジネスクラス利用 ¥728,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥80,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：成田〜クアラルンプール〜アムリトサル/デリー〜クアラルンプール〜成田間に適用			
燃油サーチャージ込みの旅行代金です。			

地方発着追加代金	大阪・名古屋〜東京 福岡・札幌〜東京	片道 …… ¥5,000 片道 …… ¥10,000	包付条件がございますので 各支店へお問い合わせください。
----------	-----------------------	-------------------------------	---------------------------------

日次	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港10：20発→クアラルンプール16：45着 クアラルンプール18：50発→アムリトサル22：05着	午前、成田空港より、航空機にてクアラルンプールへ。航空機を乗り換え、パンジャブのアムリトサルへ。着後、ホテルへ。	（成田空港集合） 機内食
2	アムリトサル	午前、●黄金寺院、●ジャリヤーンワラー庭園を訪れます。夕刻は、インド・パキスタン国境で開催される国境閉鎖セレモニーへご案内します。	【2連泊】(アムリトサル泊) □機内食
3	アムリトサル09：00発→ダラムサラ15：30着	終日、専用車にてアムリトサルよりダラムサラ(標高1500m)へ。この日は終日、移動日です。着後、ダラムサラのホテルにチェックイン。	【2連泊】(ダラムサラ泊) 朝昼夕
4	ダラムサラ	終日、ダラムサラの市内観光。●ギョト寺院、●ノル布林カ芸術文化研究所、また、ダライ・ラマ法王公邸近くの●ナムギャル僧院やマクロード・ガンジバザールなどへご案内します。	(ダラムサラ泊) 朝昼夕
5	ダラムサラ 08：00発→シムラー 18：00着	終日、専用車にて、英領時代の夏の首都、高原の避暑地シムラー(標高2000メートル)へ。この日は終日、移動日です。夕刻、ホテルにチェックイン。インド高級ホテル「オペロイ・グループ」の名門「ジ・オペロイ・セシル」に2連泊します。	【2連泊】(シムラー泊) 朝昼夕
6	シムラー	午前、「  インド山岳鉄道」のひとつ「シムラー・カールガー鉄道(トイトレイン)」乗車体験をお楽しみください。その後、市内観光にご案内します。○総督府、マール通りの中心地○英国教会や○旧市庁舎、ラッカール・バザールを散策。午後は、自由行動。くつろぎのホテルライフをお楽しみください。	(シムラー泊) 朝昼夕
7	シムラー 08：00発→デリー 23：00発→	専用車にてチャンディーガルへ。着後、市内でランチ。その後、引き続きデリーへ。夜、航空機にてクアラルンプールへ。	(機中泊) 朝昼□
8	クアラルンプール06：55着 クアラルンプール09：50発→成田空港18：05着	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。夜、成田空港に到着後、解散。	機内食□

(注) 3日目アムリトサルからダラムサラに移動する日から、7日目にデリーに到着するまでは、小型車に分乗(1台に3名様ずつ)となります。全て舗装路ですが、山道を走行しますので、ご心配な方は酔い止め薬をお持ちください。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食6回、昼食6回、夕食5回 ■添乗員：成田空港ご出発時から成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：入国時6カ月以上 ■バスポート査証未使用欄：2ページ以上 ■査証代実費：3,800円(2024年9月現在) ■査証取得手数料：6,600円(税込) ■査証用写真：1枚(縦5cm×横5cm。カラー写真、背景は白色。顔の縦(頭からあごまで)サイズが2.5cm～3.5cm。目の位置から写真の底面までは2.9cm～3.5cm。正面向き、顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3カ月以内に撮影されたもの。肩のライン(肩から上)がはっきりしたものの。 ■バスポートのカラーコピーをお預かりします。

ご宿泊ホテル

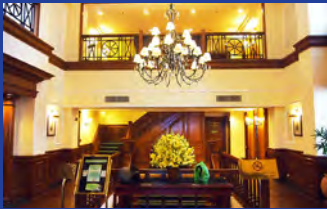
■ アムリトサル：ホリデイ・イン

※シャワーのみの客室となります。

■ ダラムサラ：アムリターラ・スーリヤ

※シャワーのみの客室となります。

■ シムラー：ジ・オペロイ・セシル



シムラーの「ジ・オペロイ・セシル」に連泊。インドの名門ホテルグループ「オペロイ」の第1号ホテルです(左)、英国時代の内装が残っています(右)

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

旧都アグラに3連泊

ムガールの絢爛

ムガル帝国の美の遺産を訪ねて 6日間



タージ・マハルは自由時間を設けてゆっくりと見学

ここにご注目。旅のポイント

- ① タージ・マハルは通常観光だけでなく、朝の美しい姿もご覧いただきます。
- ② アグラ周辺に残るムガル帝国の歴史遺産にご案内します。
- ③ インドの歴史を刻むデリー周辺の世界遺産の数々もご案内します。

ツアープランナーより

インドを旅するなら、最初にご覧いただきたいのは、世界遺産タージ・マハルです。このツアーでは、インドを代表する建築として世界的に有名な白亜の霊廟タージ・マハルを、日中の観光だけでなく朝日に照らされる姿をご覧いただくなど、より印象的にご案内します。このタージ・マハルがあるのが、かつてムガル帝国の中心地として栄え、今も多くの宮殿や城がその栄華を伝える旧都アグラです。当地に3連泊し、その遺産を訪ねるとともに、デリーにある3つの世界遺産もご案内します。インド最大の観光地であることから、ホテルや交通事情、食事などの心配もなく、安心してお訪ねいただけます。6日間の短い日程で、インドを初めて旅する方にもおすすめしたいコースです。

ツアーの見どころ

タージ・マハルは通常観光だけでなく朝の美しい姿もご覧いただきます

タージ・マハルは、ムガル帝国皇帝シャール・ジャハーンが愛妃のために白大理石で建造した霊廟。通常の入場

観光だけでなく、朝日を浴びる姿やムナー川の対岸のビュースポットからご覧いただけます。



朝の幻想的なタージ・マハルはぜひご覧いただきたい絶景です(イメージ)(注2)



利用予定航空会社：エア・インド		ツアーコード：IN028T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【成田空港集合・6日間】 4月25日(金)		エコノミークラス利用 ¥398,000	ビジネスクラス利用 ¥698,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥40,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間に適用(成田〜デリー間往復)			
燃油サーチャージ別途目安：¥42,000：9月1日現在			

地方発着追加代金	大阪・名古屋〜東京 福岡・札幌〜東京	片道 …… ¥5,000 片道 …… ¥10,000	包付条件がございますので 各支店へお問い合わせください。
----------	-----------------------	-------------------------------	---------------------------------

日次	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港11：15発→デリー 16：45着	成田空港より、航空機にてデリーへ。着後、デリー空港近くのホテルにチェックイン。	(デリー空港近郊泊) □機内食
2	デリー 14：00発→アグラ 18：30着	午前、デリーに残るムガル建築を訪ねます。ムガル帝国の都  ラール・キラー、ムガル建築の傑作と称される  フマユーン廟を見学します。昼食後、高速道路を走り、アグラへ向かいます。	【3連泊】(アグラ泊) 朝昼夕
3	アグラ	午前、優雅なムガル建築の粋を収めた  タージ・マハルを見学します。午後、アグラ城のすぐ横にある●ジャマ・マスジッドを見学。(注1)その後、赤砂岩の堂々たる建物  アグラ城を見学します。特に、夕暮れのアグラ城の美しさは格別です。	(アグラ泊) 朝昼夕
4	アグラ	朝日に輝くタージ・マハルを、ヤムナー川の対岸から見学。(注2)その後、白大理石が印象的な●イティマド・ウッダウラー廟を見学します。見学後、アグラ郊外にあるアクバル帝の城都、ムガル建築の代表の1つ、  ファデーブル・シクリを訪れます。午後、シカンドラの●アクバル廟を見学し、アグラ市内に戻ります。	(アグラ泊) 朝昼夕
5	アグラ08：00発→デリー 12：30着(市内観光)	午前、バスにてデリーへ戻ります。デリーにて、  クトップ・ミナール、インダス文明からムガル朝まで豊富なコレクションを誇る●国立博物館を見学します。夕刻、デリー空港に到着。夜、航空機にて帰国の途へ。	(機中泊) 朝昼機内食
6	成田空港08：45着	午前、成田空港に到着後、解散。	機内食□□

(注1)宗教行事などで入場できない場合がございます。
(注2)天候によってはご覧いただけない場合がございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食4回、昼食4回、夕食4回 ■添乗員：成田空港ご出発時から成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：入国時6カ月以上 ■バスポート査証未使用欄：2ページ以上必要 ■査証代実費：3,800円(2024年9月現在) ■査証取得手数料：6,600円(税込) ■査証用写真：1枚(縦5cm×横5cm。カラー写真、背景は白色。顔の縦(頭からあごまで)サイズが2.5～3.5cm。目の位置から写真の底面までは2.9～3.5cm。正面向き、顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3カ月以内に撮影されたもの。肩のライン(肩から上)がはっきりしたものの。 ■バスポートのカラーコピーをお預かりします。

ご宿泊ホテル

- デリー空港近郊：プライド・プラザ・ホテル・エアロシティ
- アグラ：グランド・メルキュール・アグラ
- ※いずれのホテルもシャワーのみの客室となります。

アグラ周辺に残るムガル帝国の歴史遺産にご案内

アグラ城はアクバル帝によって築かれたムガル帝国の象徴。赤砂岩で造られた堂々たる宮殿が、より美しく

見える午後を訪ねます。アグラ郊外にあるアクバル帝の城跡ファテープル・シクリもご案内します。



赤い砂岩が威容を際立たせる、世界遺産アグラ城を訪ねます



水不足により14年で放棄された城跡、世界遺産ファデーブル・シクリ

燃油サーチャージ込み インド亜大陸最南端へ

南インド・圧巻のヒンドゥー建築と コモリン岬の旅 8日間



夥しい数の神々の像に彩られたマドゥライのミーナークシ寺院

ここにご注目。旅のポイント

- ① カラフルで生命力溢れる南インドの象徴、巨大なミーナークシ寺院を見学します。
- ② インド最南端の聖地コモリン岬を、朝日と夕日の時間に合わせて訪ねます。
- ③ ドラヴィダ文化を今に伝える宮殿や博物館、ミールスやドーサなど独特の食文化。南インドを満喫いただけるプログラムです。

ツアープランナーより

インドと聞いて思い浮かべるタージ・マハルは、北部にあるイスラム帝国ムガルルの遺産です。しかし南部はその影響力が小さく、今も先住民のドラヴィダ系の人々の文化を色濃く伝えています。中世にはヒンドゥー教王国が興隆したことから、当時の建築の数々が各地に見られます。均整の取れたイスラム建築と異なり、カラフルで生命力溢れる建築群は、一度目にとると忘れられない圧巻の姿です。ツアーでは、南インドを代表するミーナークシ寺院やプリハディーシュワ寺院などを見学。インド最南端の聖地コモリン岬を訪ね、アラビア海に沈む夕日とベンガル湾から昇る朝日をご覧ください。北とはまったく違う、新鮮なインド体験を味わえることでしょ

ツアーの見どころ

南インド最大のスケールを誇る ミーナークシ寺院を見学

高さ60メートル、数千の彫刻が施された4つのゴープラム(塔門)、千本の柱で支えられたマンダパム(堂)、9つの塔など、ヒンドゥー教の大本山の堂々たる姿が見る者を圧倒します。必見の南インドのヒンドゥー教寺院です。



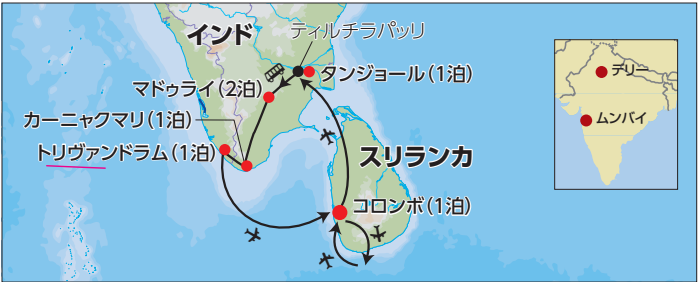
内部も圧巻のミーナークシ寺院

インド最南端 コモリン岬では 朝日、夕日の時間に合わせて訪ねます

南インド最大の見どころのひとつ、コモリン岬は、アラビア海、インド洋、ベンガル湾の3つの海が出合う、亜大陸最南端の地であり、聖地でもあります。夕日の観賞だけでなく、人々が祈りを捧げる朝日の時間に合わせて訪ねます。(注)



神秘的なコモリン岬の日の出(イメージ)



利用予定航空会社：スリランカ航空		ツアーコード：IN095T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【成田空港集合・8日間】 5月3日(土)		エコノミークラス利用 ¥448,000	ビジネスクラス利用 ¥828,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥65,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間にのみ適用			
燃油サーチャージ込みの旅行代金です。			

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	但し付帯条件がございますので 各支店へお問い合わせください。
----------	--	-----------------------------------

欧	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港11:35発→ コロンボ17:25着	成田空港より、航空機にてコロンボへ。 着後、ホテルにチェックイン。	(コロンボ泊) □機夕
2	コロンボ07:55発→ ティルチラパッリ 08:55着	午前、コロンボより、航空機にて南インド・タミルナドゥ州のティルチラパッリへ。 着後、○ランガナータ・スワームー寺院、○ジャンプケーシュワラ寺院を見学。 午後、バスにてタンジョールへ。 着後、ホテルにチェックイン。	(タンジョール泊) 団昼夕
3	タンジョール17:30着	午前、●プリハディーシュワラ寺院、○王宮を見学。 午後、バスにてドラヴィダ文化の故郷マドゥライへ。 着後、ホテルにチェックイン。	(2連泊)(マドゥライ泊) 朝昼夕
4	マドゥライ	終日、マドゥライの市内観光です。典型的なドラヴィダ様式の●ミーナークシ寺院、●ティルマイ・ナーヤカ宮殿、●国立ガンディー博物館などへご案内します。 ※夜、ご希望の方は、ミーナークシ寺院のクロージング・セレモニーにご案内します。(実費)。	(マドゥライ泊) 朝昼夕
5	マドゥライ09:00発→ カーニャマリ13:00着 (コモリン岬)	午前、バスにてインド亜大陸最南端のコモリン岬へ。 着後、ホテルにて昼食の後、休憩。 夕刻、のどかな漁村を散策。アラビア海に沈む夕日をご覧ください。(カーニャマリ泊) 朝昼夕	
6	カーニャマリ09:00発→ トリヴァンドラム13:00着	朝、ベンガル湾から昇る朝日をご覧ください。(注) 朝食後、専用バスにてケララ州のトリヴァンドラムへ。 昼食後、市内観光へ。●プーテン・マリが宮殿博物館、○パドマナーバスワミ寺院、●ネイピア博物館を見学。	(トリヴァンドラム泊) 朝昼夕
7	トリヴァンドラム10:20発→ コロンボ11:20着	午前、航空機にてコロンボへ。 コロンボ着後、昼食と簡単な市内観光。○シーマ・マラカヤ寺院、●ナンバー 11など建築家ジェフリー・パフゆかりの場所を見学します。 夜、航空機にて帰国の途へ。	(機中泊) 団昼機
8	コロンボ19:50発→ 成田空港08:10着	午前、成田空港に到着後、解散。	機□□

(注)天候によってはご覧いただけない場合がございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員:10名様 ■食事:朝食6回、昼食6回、夕食6回 ■添乗員:成田空港ご出発時から成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間:帰国時6カ月以上 ■バスポート査証未使用欄:6ページ以上 ■スリランカ入国の際、査証(アライバルビザ)取得が義務付けられております。7,600円(2024年9月現在)を事前にお支払いいただきます。※スリランカ査証については非常に流動的であるため、変更が生じる可能性があります。詳細は出発の30日前前夜にご案内させていただきます。 ■インド査証代実費:3,800円(2024年9月現在) ■査証取得手数料:6,600円(税込) ■査証用写真:1枚(縦5cm×横5cm。カラー写真、背景は白色。顔の縦(頭からあごまで)サイズが2.5cm～3.5cm。目の位置から写真の底面までは2.9cm～3.5cm。正面向き、顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3カ月以内に撮影されたもの。肩のライン(肩から上)がはっきりしたもの)。 ■バスポートのカラーコピーをお預かりします。

ご宿泊ホテル
■ コロンボ空港近郊ネゴンボ：ヴィヴァンタ・コロンボ・エアポート・ガーデン
■ タンジョール：スヴァトマ・タンジョール
■ マドゥライ：コートヤード・バイ・マリOTT・マドゥライ
■ カーニャマリ：スパルサ・リゾート・カーニャマリ
■ トリヴァンドラム：オー・バイ・タマラ・トリヴァンドラム
※いずれのホテルもシャワーのみの客室となります。



南インドのチョーラ朝の建築を代表する世界遺産プリハディーシュワラ寺院



南インドの定食料理ミールスをお召し上がりください

天空の楽園を連泊で訪ねる

インダス上流の小チベット 下ラダック・上ラダックの旅 8日間



まるで城砦のように勇壮なティクセ僧院

ここにご注目。旅のポイント

- ① 旅のはじまりは、標高の低いアルチ村から。下ラダックに2連泊する、標高順応を考慮した日程です。
- ② レーでは快適なブティックホテル「エッセンス・アット・ラダック」に3連泊。
- ③ 神聖な空気が感じられる朝の動行風景や小さな村の古刹にもご案内。本来のチベット仏教にふれていただきます。

ツアープランナーより

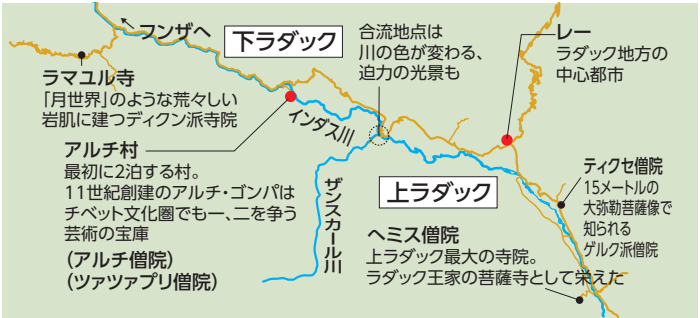
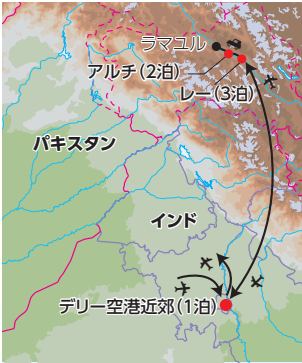
紀元前5世紀頃にインドで生まれた仏教は急速にユーラシア大陸に拡大。その過程で地域毎に独自の発展を遂げたり廃れたりしましたが、歴史的にも地理的にもインドに近いラダックでは2500年以上経った今でも「仏教の本来の姿を今に伝える」チベット仏教が残されています。北にカラコルム山脈、南にヒマラヤ山脈がそびえ、盆地の谷間を大河インダスが流れるこの地は、標高が3000メートルを超え、外界との交流が困難な隔絶された世界。厳しくも美しい自然と共に生きる人々の精神性とチベット仏教の密教的な性質が結びつき、今でも厚く信仰されているのです。小さな村であっても立派な古刹が建ち、中には息をのむような美しい仏教美術が見られるのはこの地ならではの。小型車に分乗して移動する途中にご覧いただく荒涼たる大自然の美しさはきっと目に焼き付いて離れないことでしょう。

ツアーの見どころ

旅の始まりは標高の低いアルチへ 下ラダックで2連泊

アルチでは、インド内のみならず、チベット文化圏でも1、2を争うアルチ僧院の貴重な仏教芸術にふれていただきます。また近郊のラマクル僧院からは、「月面世界」のような雄大な景色をご覧ください。

村に残る名刹アルチ僧院



利用予定航空会社：エア・インディア、日本航空、全日空		ツアーコード：IN015T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【成田または羽田空港集合・8日間】 5月4日(日)		エコノミークラス利用 ¥448,000	ビジネスクラス利用 ¥748,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥65,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間にのみ適用 (東京～デリー間往復)			
燃油サーチャージ別途目安：¥42,000・9月1日現在			

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	但し付帯条件がございますので 各支店へお問い合わせください。
----------	--	-----------------------------------

欧	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港11:15発→ デリー 16:45着	午前、成田空港より航空機にてデリーへ。 着後、空港近くのホテルへ。	(デリー-空港近郊泊) □機夕
2	デリー 06:40発→ レー 08:10着 アルチ11:00着	朝、航空機にてラダックの中心都市レー(標高3,500メートル)へ。 着後、専用車に分乗し、絶景を眺めながら下ラダック地方のアルチ村(標高3,100メートル)へ。 午後は、ホテルで小休憩をしてから村の散策へ。●アルチ僧院を訪ねます。	(2連泊)(アルチ泊) 団昼夕
3	アルチ村 (ラマクル僧院)	午前、インダス河谷いを走り、月面世界のようなラマクルへ。着後、●ラマクル僧院を見学。 午後、専用車にてアルチ村に戻ります。	(アルチ泊) 朝昼夕
4	アルチ村09:00発→ ヘミス レー 14:00着	午前、専用車に分乗して、レーに戻ります。途中、●リキル僧院にご案内します。 午後、レーのホテル「エッセンス・アット・ラダック」にチェックイン。夕刻、ラダック地方の民族舞踊をお楽しみください。	(3連泊)(レー泊) 朝昼夕
5	レー	早朝、ティクセ僧院へ。朝の動行の風景をご覧ください。巨大な弥勒菩薩像も見ものです。 午前、レー市内の○レー王宮、○シャンティ・ストゥーパなどへご案内します。 夕刻、○ナムギャル・ツェモから、レー市街の景観を觀賞。	(レー泊) 朝団夕
6	レー	午前、上ラダック地方の名刹の見学にご案内します。最大規模の寺院●ヘミス僧院、●シェー王宮を見学します。 午後、自由行動です。新しくできたカフェや売店が並ぶレーのバザールをご覧ください。	(レー泊) 朝昼夕
7	レー 12:00発→ デリー 13:25着 デリー 21:10発→	午後、国内線にてデリーへ戻ります。 着後、遅めの昼食をお召し上がりいただけます。 夜、航空機にて帰国の途へ。	(機中泊) 朝昼機
8	成田空港08:45着	朝、成田空港に到着後、解散。	機□□

※日程表の時刻は、成田空港発着のエア・インディアの利用を想定したものです。他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。
※2日目レー-空港到着後、7日目のレー-空港出発まで、ラダック地方では小型車(1台3名様ずつ)の分乗となります。道路が狭いため大型バスは走行できませんが、道は舗装されており、大きな心配にはおよびません。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員:10名様 ■食事:朝食6回、昼食6回、夕食6回 ■添乗員:成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間:入国時6カ月以上 ■バスポート査証未使用欄:2ページ以上 ■査証代実費:3,800円(2024年9月現在) ■査証取得手数料:6,600円(税込) ■査証用写真:1枚(縦5cm×横5cm。カラー写真、背景は白色。顔の縦(頭からあごまで)サイズが2.5cm～3.5cm。目の位置から写真の底面までは2.9cm～3.5cm。正面向き、顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3カ月以内に撮影されたもの。肩のライン(肩から上)がはっきりしたもの。) ■バスポートのカラーコピーをお預かりします。
■今回の旅では、添乗員がパルスオキシメーター(携帯用の血中酸素飽和度測定器)を持参し、高度順応の状態を把握するよう努めさせていただきます。
■「治療・救護費費用」に対応した海外旅行保険は必ずご加入ください。万一、重度の高山症にかかれた際に、近くの病院で治療ができない場合は車やヘリコプター、セナ機等をチャーターするなど搬送や治療に多額の費用がかかる可能性があります。

ご宿泊ホテル

- デリー-空港近郊：ウェルカム・ホテル・バイ・ITC・ドワルカ
 - アルチ：ホテル・アルチ・ジムスカンまたはサンドゥプリンまたはアルチリゾート
 - レー：エッセンス・アット・ラダック
- コテージタイプのブティックホテル。ラダック地方の資材を用い、伝統的な建築技法と現代の建築を組み合わせた快適なロッジが13棟(26部屋)。快適にお過ごしいただけます。



エッセンス・アット・ラダックの客室(イメージ・ロッジにより客室の仕様は異なります)

※アルチ村は、ラダック地方の小さな村のため、ホテルは簡素な造りです。お湯の出(供給量)に限りがあり、まれに停電が起きる場合もございます。
※いずれのホテルも客室はシャワーのみの設備です。

燃油サーチャージ込み

スリランカ航空往復直行便でゆく

スリランカ名作ホテルと

世界遺産の旅

8日間



パワの最高傑作とも称されるヘリタンス・カンダラマ。自然と一体となった見事な建築です

ここにご注目。旅のポイント

- ① 天才建築家ジェフリー・パワの2つの名作ホテルに宿泊します。
- ② スリランカー有名な世界遺産シギリヤ・ロックは、朝の時間帯に訪問。
- ③ 大航海時代の港町ゴールなどスリランカの4つの世界遺産にご案内します。

ツアープランナーより

「熱帯建築家」とも称されるスリランカを代表する建築家、ジェフリー・パワ。同国にはパワが手がけたホテルがいくつもありますが、なかでも代表的な唯一の内陸部のリゾートホテル「ヘリタンス・カンダラマ」と、ネゴンボの静かな海のすぐそばにある「ジェットウィング・ビーチ」の2つの名作ホテルに宿泊します。もちろん、観光内容も充実。内陸部の文化三角地帯に残る古代遺跡から古都、高原地帯の茶畑、大航海時代の面影が残る港町まで、見応えのある訪問地が次々と現れます。往復の移動は、スリランカ航空の直行便(燃油サーチャージ込み)を利用。お体の負担も少なく、限られたゴールデンウィークに合わせて時間を有効に使いながらご案内します。

ご宿泊ホテル

■ ダンブッラ: ヘリタンス・カンダラマ

© Heritance Kandalama

■ ネゴンボ(コロンボ空港近郊): ジェットウィング・ビーチ

■ ゴール: ラディソン・ブリュ・リゾート

■ ヌワラエリヤ: ザ・ブラックプール

天才建築家ジェフリー・パワの2つの名作ホテルに宿泊します

スリランカでも有数の漁港であるネゴンボに佇むホテル、ジェットウィング・ビーチ。人々が「海」と共に生きてきた街の歴史やその想いを大切に設計されています。2004年にパワの弟子ピノット・ジャヤシングにより改築されましたが、ホテルのエントランスや階段エリアはオリジナルの姿のままです。滞在するゲストが常に海に触れあえることを目指した空間を、ご宿泊の際にご体感ください。

パワ建築で唯一のマウンテン・リゾート。自然を遮断した空間を作る西欧建築に対して、パワの建築はアジア的な感性に満ち、自然と調和した空間美が魅力であり、その大胆な発想を具現化した傑作です。岩山を背景に湖を見下ろす立地、そして森の中に建物が包み込まれるように建てられています。ロビーや廊下にも剥き出しの岩がそのまま残され、自然との一体感を目指したパワの代表作です。

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

利用予定航空会社：スリランカ航空		ツアーコード：IN171T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【成田空港集合・8日間】 4月29日(火)		エコノミークラス利用 ¥498,000	ビジネスクラス利用 ¥878,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥85,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間に適用（成田～コロンボ間往復）			
燃油サーチャージ込みの旅行代金です。			
地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 福岡・札幌～東京	片道 …… ¥5,000 片道 …… ¥10,000	包付機条件がございますので 各支店へお問い合わせください。

欧	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港11:35発➔	午前、成田空港より スリランカ航空ノンストップ直行便 にてコロンボへ。	機
	コロンボ17:25着≡ ネゴンボ	着後、パワが初期に手がけたデザインホテル「 ジェットウィング・ビーチ 」へ。（ネゴンボ:「 ジェットウィング・ビーチ 」泊）	
2	ネゴンボ11:00発≡ ルヌガンガ	ご出発までのんびりとお過ごしください。	機
	ゴール17:00着	午前、パワの理想郷 ルヌガンガ にご案内します。 午後、ゴールへ向かいます。【2連泊】(ゴール泊) 朝昼夕	
3	ゴール	午前、 ①ゴール旧市街 の観光。○ムーン要塞や○オランダ教会、○灯台、●国立博物館へご案内します。 午後、自由行動。ホテルにてごゆっくりお過ごしください。	機
		(ゴール泊) 朝昼夕	
4	ゴール08:00発≡ ヌワラエリヤ13:00着	午前、イギリス植民地時代の面影を残す避暑地 ヌワラエリヤ へ。 遅めの昼食には ハイティールランチ をご賞味ください。 その後、● 紅茶農園 を見学します。（ヌワラエリヤ泊) 朝昼夕	機
	ヌワラエリヤ08:00発≡ キャンディ	午前、キャンディへ。 着後、 ②キャンディ では● 仏歯寺 、○ キャンディ・マーケット へご案内します。	
5	ダンブッラ17:00着	午後、ダンブッラへ。ご宿泊は、自然と一体化したパワの名作ホテル「 ヘリタンス・カンダラマ 」です。	機
		【2連泊】(ダンブッラ:「 ヘリタンス・カンダラマ 」泊) 朝昼夕	
6	ダンブッラ(シギリヤ)	朝、 シギリヤ・ロック へ。 着後、ジャングルにそびえる巨大な岩山、 ③シギリヤ・ロック に登ります。中腹には美しい天女シギリヤレディのフレスコ画が描かれ、頂上まで登ると、360度の眺望が望めます。 その後、ホテルに戻り、朝食と休憩を取ります。	機
		午後、 ④ランギリ・ダンブッラの石窟寺院 を見学します。 (ダンブッラ:「 ヘリタンス・カンダラマ 」泊泊) 朝昼夕	
7	ダンブッラ09:00発≡ コロンボ19:50発➔	午前、コロンボへ向かいます。 夜、 スリランカ航空ノンストップ直行便 にて成田へ。	機
		(機中泊) 朝昼機	
8	成田空港08:10着	朝、成田空港に到着後、解散。	機

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員:10名様 ■食事:朝食6回、昼食6回、夕食6回 ■添乗員:成田空港ご出発時から成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間:帰国時6カ月以上 ■バスポート査証未使用欄:2ページ以上必要 ■スリランカ入国の際、電子渡航認証(ETA)取得が義務付けられております。弊社で代行取得することもできます。電子渡航認証ETA代は日本国籍の方は無料(2024年10月現在)となっております。代行取得手数料 6,600円(税込)で承ります。(代行取得の際はバスポートの顔写真ページのコピーをお預かりいたします)
※ご自身で取得される場合は、ETA専用サイト(https://eta.gov.lk/slvisa/)にアクセスして取得してください。
※スリランカ査証については非常に流動的であるため、変更が生じる可能性がございます。詳細は出発の30日前後にご案内させていただきます。

カッサパ1世が築いた都城シギリヤ・ロック

燃油サーチャージ込み

進化するダッカ&歴史遺産、織物の村を訪ねて

躍動のベンガル・

新Bangladeshの旅

8日間

17世紀の姿を残すプティアの村（イメージ）

ここにご注目。旅のポイント

① インターコンチネンタルに泊まり、ダッカメトロを利用して新しいダッカを散策。

② 世界無形文化遺産にも登録された花模様美しい「ジャムダニ織」の工房を訪れます。

③ パハルプール、プティア、ショナルガオン。歴史を伝える3つの歴史遺産を訪問。

ツアープランナーより

Bangladeshの観光と聞いて何も浮かんでこないという人が大半ではないでしょうか。Bangladeshは1971年の独立後、国内の政治的混乱や自然災害などに悩まされ、世界最貧国の一つと認識されていました。その後、民主的な秩序を築き上げ、2024年現在、世界37位のGDPになるまでの経済的発展を遂げました。特に縫製業は世界2位であり、その伝統と技術は目を見張るものがあります。本ツアーでは、遺跡だけでなく、テキスタイルをはじめとする様々な魅力に焦点を当て、未知なるBangladeshをご紹介します。進化を遂げるアジアのラストフロンティアをお楽しみください。
昨今のBangladesh情勢を鑑み、9月上旬に弊社幹部が現地を視察。学生デモの終結と、観光で訪れる場所の安全を確認しての募集としております。

ツアーの見どころ

Bangladeshを深く知るプログラムを追加

当初6日間の日程で発表したBangladeshの旅。航空機の運航の都合で8日間となり、滞在が2日間増えた部分は、あえて名所、旧跡ではなくBangladeshを深く知るプログラムを加えることといたしました。

ベンガル料理のデザートとしても好まれる、ヨーグルト「ドイ」造りの村や、ノーベル平和賞受賞者で、現在の暫定政権のトップとして、国民から慕われるユナス氏が推進する「グラミン銀行」の活動風景の見学。そして、ユナスコの世界無形文化遺産に登録される

グラミン銀行に集まる村人(イメージ)

利用予定航空会社：ピーマン・Bangladesh航空		ツアーコード：IN023T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【成田空港集合・8日間】 5月2日(金)		エコノミークラス利用 ¥428,000	ビジネスクラス利用 ¥778,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥00,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間へのみ適用			
燃油サーチャージ込みの旅行代金です			
地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 福岡・札幌～東京	片道 …… ¥5,000 片道 …… ¥10,000	包付機条件がございますので 各支店へお問い合わせください。

欧	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港11:00発➔ ダッカ15:00着	成田空港より、ピーマン・Bangladesh航空直行便にて、Bangladeshの首都ダッカへ。着後、新しいBangladeshを象徴する高級ホテル「 インターコンチネンタル・ダッカ 」にチェックイン。	機
		【2連泊】(ダッカ泊) 朝昼夕	
2	ダッカ(○旧市街・ダッカ)	午前、 ダッカの旧市街 、 オールドダッカ へ。迷路のような街並みの中、装飾の素晴らしい● スターモスク を見学。その後、ダッカの交通の要衝、古くからの港○ シドル・ガット を訪れます。 午後、日本の協力で完成した高架鉄道「 ダッカメトロ 」に乗りし、「 幻のダッカ・モスリン 」が見られる● 国立博物館、建築家ルイス・カーン の手掛けた○ 国会議事堂 を訪れます。（ダッカ泊) 朝昼夕	機
		午前、Bangladeshの歴史散歩の拠点となる、ボグラへ。途中、 ジャガー 織りの盛んな、サリー造りの タンガイル 村にて、サリー造りの工房を訪れます。 午後、 ベンガル料理 に欠かせないヨーグルト「ドイ」造りの村に立ち寄ります。夕刻、ボグラに到着します。（ボグラ泊) 朝昼夕	
3	タンガイル(○ボグラ17:00着)	午前、 玄奘三蔵も訪れたと言われる都市遺跡 、● モハスタン遺跡 へ。見学後、8世紀に建設された大仏教寺院で、アンコール・ワットにも影響を与えたと言われる、 Bangladeshを代表する ● パハルプール を訪れます。 見学後、ボッダ川(Bangposhi)のほとりの町、 ラジシャヒ へ。	機
		【2連泊】(ラジシャヒ泊) 朝昼夕	
5	(Bangposhiの夜明け・遊覧) ラジシャヒ08:00発≡ (グラミン銀行) プティア(○ラジシャヒ16:00着)	早朝 、ボートにて ボッダ川(Bangposhi) の日の出を觀賞します(注)。午前、ノーベル平和賞受賞者で暫定政権のトップのユナス氏が推進する グラミン銀行 の活動風景を見学します。 午後、 ベンガル様式のヒンドゥー寺院 が集まる、貴重な歴史の町、 プティア へ。彫刻の見事なベンガル様式の寺院○ ゴヴァンダ寺院 、○ アニク寺院 、町を見下ろす○ シヴァ寺院 などを訪れます。（ラジシャヒ泊) 朝昼夕	機
		午前、ムガル帝国時代より水運の街として栄えた クシュティア へ。クシュティアでは、● ラロン廟 にてユナスコの世界無形遺産に登録される、 ベンガル地方の吟遊詩人「歌う修行僧バウル」 の ラロン音楽をお楽しみください 。 その後、 Bangposhi川 を渡りダッカへ。（ダッカ泊) 朝昼夕	
6	ラジシャヒ08:00発≡ (バウルのラロン音楽) ダッカ17:00着	午前、織物などの製品が豊富なNGOが運営する ショップ へ。その後、 水運で栄えた「黄金の都」ショナルガオン へ。昼食後、民族博物館となっている● シドルババ 、古い街並みが残る○ パノム・ノゴル を訪れます。 見学後、 ジャムダニ織りの村 を見学しダッカへ戻ります。 夕食は、 伝統的な食材を使用したベンガル料理のレストラン「PATURI BANANI」 にてお楽しみいただきます。 夕食後、 ダッカ空港 へ。 深夜、 ダッカ空港よりピーマン・Bangladesh航空、直行便にて帰国 の途へ。	機
		(機中泊) 朝昼夕	
8	成田空港 09:00着	午前、成田空港に到着。	機

※現地の状況により、観光順序を入れ替えてご案内する場合がございます。
※土地柄、マイクロバスとなります。（注）悪天候の場合、見られないこともございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員:10名様 ■食事:朝食6回、昼食6回、夕食7回 ■添乗員:成田空港ご出発時から成田空港ご到着時まで同行いたします。 ■バスポート必要残存有効期間:帰国時6カ月以上 ■バスポート査証未使用欄:見開き2ページ以上必要 ■査証料:査証自体は無料ですが、大使館に赴き申請手続きを当社が代行して行います(2024年4月現在) ■査証取得手数料:6,600円(消費税含む) ■査証用写真:1枚(4.5cm×3.5cm。カラー写真。6カ月以内に撮影されたもの。スナップ写真不可) ■バスポート本体をお預かりします。

■**大切なお知らせ(必ずご一読ください)**(2024年10月1日現在)：このたびのツアーには一部外務省の「危険レベル2」の地域です。(危険レベル2「不要不急の渡航は止めてください。」渡航する場合には特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください(日本外務省。)) JATA (日本旅行業協会)のガイドラインに基づきまして、下記の安全対策を講じますので、予めお含みおください。(下記は、「危険レベル2」の地域におけるものとなります)
・現地治安当局、観光局などの政府機関との安全確認 ・現地日本領事館との連絡体制 ・全行程同行ガイド、観光警察と添乗員の3名での案内体制 ・グループ行動を基本とし、1時間以上の「自由行動」は原則設けない。

ご宿泊ホテル

■ **ダッカ**：インターコンチネンタル・ダッカ

■ **ボグラ**：ナス・ガーデンホテルまたは**モモイン** ※いづれもシャワーのみの客室となります。

■ **ラジシャヒ**：ホテル・グランド・リバービューまたは**ホテル・ロイヤル・ラージ**
Bangposhi川のほとり、ラジシャヒに新しく完成したホテルです。

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

31

32

2024年6月にリニューアル・バスタブ付き
西地中海の港町
オーシャニア・マリーナの船旅 10日間



アフリカに位置するスペインの飛び地メリリヤなど
ユニークな寄港地を巡ります



オーシャニア・マリーナ(イメージ)

オーシャニアクルーズが選ばれる理由

- お食事時のドリンクはアルコールを含めフリードリンクです(※一部ヴァンテージ物を除く)。
- 船内でのWi-Fiは無料サービス。
- おひとり100ドルの船内クレジットをプレゼント。
- 船内のデザインは、オーシャニア特有のカジュアルかつエレガントなものです。
- 夕食時の服装は指定なし。毎日がスマートカジュアルでリラックスした雰囲気でお食事をお楽しみください。
- メインダイニングはオープン・シーティング・レストラン、スペシャルティレストランも一切追加料金不要です。
- 乗客数に対する乗務員の数が多く、満足度の高いサービスを提供します。
- アメニティや枕の素材ひとつに至るまで妥協のないこだわりで上質さを追求。
- 世界的にも評価の高い料理をお楽しみください。



ベランダステート 30㎡ バスタブ付き(イメージ)

2024年6月に改装を終えたばかりの
「オーシャニア・マリーナ」に乗船します

これまでの3万トンクラスからオーシャニアが新造した初めての6万トンクラスの客船。2024年に大規模改修が行われ、大小3つのレストランやカフェが新たに加わりました。多彩なオープンシーティングのダイニング、バルコニー付きの海側の客室など、スケールアップした「マリーナ」に乗船します。

ツアープランナーより

現在、世界の中で高い人気を誇る船会社であり、グループで客室を確保することが難しいオーシャニアクルーズ。このたび、早い段階からバスタブ付きのキャビンが一定数確保できたことを受け、発表に至りました。中型船の特性を活かしたユニークな航路が多いことが特徴で、このたびも北アフリカのタンジェ(ティトアン)やメリリヤ(スペイン領北アフリカ)、欧州側ではアリカンテ(ムルシア)など異なる歴史と伝統、見どころがあるにもかかわらず、訪問する機会の少ない町を訪れる航路を選びました。また、船の評判がすこぶる高いことも特筆すべき点で、正装不要ながらラグジュアリー船に匹敵するサービスや設備、そして同社社長自らが「洋上最高の料理のご提供を目指す」と宣言した食へのこだわりが、世界中のクルーズファンに高く評価されています。2024年に大規模改修が行われ、大小3つのレストランやカフェが新たに加わるなど設備も一段とアップグレードしたオーシャニア・マリーナでゆく西地中海。確保しているキャビンが売り切れ次第、販売終了となりますのでぜひお早めにご検討ください。



ダイニング(イメージ) フォーマルは不要、肩肘張らずにリラックスして自慢の食事を存分にお楽しみください



メインダイニングの優雅な食事(イメージ)



スペシャルティレストランも追加料金不要(イメージ)

SHIP DATA

- 総トン数：6万6084トン ■ 全長：240m ■ 全幅：32m
- 最大乗客数：1250名 ■ 乗務員数：800名 ■ 建造年：2011年(2024年6月改装)

ツアーの見どころ

タンジェ エキゾチックな欧州とアフリカの交易の中心地

バス周遊のルートからは地理的に離れていることから訪ねる機会の少ない、海の玄関口タンジェに寄港します。ジブラルタル海峡に面し、対岸のスペイン領アルヘirasへはフェリーで2時間ほどで到着します。古代からヨーロッパとアフリカの交易の中継地でもあったため、様々な民族が行き交いました。小説の舞台にも描かれ、エキゾチックで開放的な雰囲気が漂います。近郊の世界遺産ティトアンの散策と併せてお楽しみください。



地中海に面したモロッコの海の玄関口タンジェ

メリリヤ

多彩な文化がにじむモロッコにあるスペインの飛び地

モロッコ北端に位置する、12平方キロのスペイン領。歴史は古く、フェニキアの時代に遡ります。イスラム王朝が領有したこともありましたが、レコンキスタ後はスペイン領になりました。城壁に囲まれた旧市街の街並みには、どこかアラビア風の趣が漂います。また、アール・ヌーヴォー建築が多数残されているのも魅力で、スペイン広場周辺の歴史的な建物には、キリスト、イスラム、ユダヤ、ヒンドゥーそれぞれの宗教の影響が見られます。



北アフリカ・モロッコにあるスペイン領メリリヤ 交易港として栄えた歴史を持ちます

ムルシア

スペインにあるアラブ起源の歴史ある街

9世紀初頭にコルドバのカリフの命によって築かれ、13世紀まではアラブ都市として栄華を極めたムルシア。その後もセビリア王国やバレンシア王国に併合されるなど、激動の歴史を歩んできました。14世紀末にカステーリヤ・ゴシック様式で建てられたカテドラルは、街の生き証人ともいえる建物であり必見。バロック様式のファサードを含め、塔はルネサンス、バロック、ロココ様式の混成と、スペイン建築の縮図のようです。



ムルシアの中心部に立ち、様々な時代の建築様式が見られる大聖堂

■ 取消料について ※「旅行代金」とは「お支払対象旅行代金」のことをいいます。(1名室利用追加代金含む)		
旅行契約の解除期日		取 消 料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって180日目に当たる日以降121日目に当たる日まで	に解除するとき	¥57,000
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって120日目に当たる日以降91日目に当たる日まで	に解除するとき	旅行代金の25%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって90日目に当たる日以降61日目に当たる日まで	に解除するとき	旅行代金の37.5%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって60日目に当たる日から当日(旅行開始前)	までに解除するとき	旅行代金の50%
旅行開始後以降又は無連絡不参加のとき		旅行代金の100%

当社では「クルーズ旅行取消費用担保特約」をご用意しておりますので、ツアー申し込みと必ず同時に海外旅行傷害保険に、取消料の特約を加えて加入されますことをお勧め申し上げます。



利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ

ツアーコード：RL432T

集合・日数・出発日		旅行代金	
【羽田空港集合・10日間】 4月30日(水)			
デラックス・オーシャンビュー・ステートルーム (22㎡、バスタブ、ベランダ付き)	エコノミークラス利用 ¥858,000	ビジネスクラス利用 ¥1,378,000	
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金 ¥250,000にて承ります)			
ベランダ・ステートルーム (30㎡、バスタブ、ベランダ付き)	エコノミークラス利用 ¥938,000	ビジネスクラス利用 ¥1,458,000	
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金 ¥330,000にて承ります)			
コンシェルジュ・ベランダステートルーム (30㎡、バスタブ、ベランダ付き) ※ランドリーサービス、ラウンジ利用、ウェルカムシャナン、スパ利用の特典あり	エコノミークラス利用 ¥978,000	ビジネスクラス利用 ¥1,498,000	
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金 ¥370,000にて承ります)			
ペントハウス・スイート(45㎡)もごございます。ご希望の場合は、担当までお問い合わせください。			
※部屋の広さはバルコニーを含みます。			
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間のみ			
燃油サーチャージ別途目安：¥74,500：9月1日現在			

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包し付帯条件がございますので 各支店へお問い合わせください。
----------	--	-----------------------------------

改	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港21:55発➔	夜、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) □□機
	イスタンブール05:10着 イスタンブール06:55発➔	イスタンブール着後、航空機を乗り換え、リスボンへ。	
2	【ポルトガル】 リスボン09:55着 リスボン17:00発➔	着後、リスボンの旧市街の散策へご案内します。 午後、「オーシャニア・マリーナ」にチェックイン。 【7連泊】(「オーシャニア・マリーナ」船中泊) □昼夕	
3	【スペイン】 ウェルバ11:00着 ウェルバ21:00発➔	昼食後、セビリアへ。●アルカサル、○ヒラルダの塔などをご案内します。	(船中泊) 朝昼夕
4	【モロッコ】 タンジェ07:00着 タンジェ17:00発➔	午前、旧市街がエキゾチックな世界遺産のティトアンを見学。 午後、タンジェの観光。スークなどの散策にご案内します。	(船中泊) 朝昼夕
5	【スペイン】 メリリヤ08:00着 メリリヤ17:00発➔	午前、自由行動。 午後、船主催のエクスカーショ(混乗)にてアフリカ大陸側にあるスペイン領メリリヤの旧市街の散策とコンベンティコ洞窟にご案内します。	(船中泊) 朝昼夕
6	【スペイン】 アリカンテ09:00着 アリカンテ18:00発➔	午前、バスにてムルシアへ。着後、○大聖堂、○サンタクララ修道院を見学します(船主催のエクスカーショにて、混乗バスでのご案内となります)。	(船中泊) 朝昼夕
7	【スペイン】 マジョルカ島07:00着 マジョルカ島15:00発➔	午前、バルマ・デ・マジョルカの旧市街を徒歩観光。	(船中泊) 朝昼夕
8	【フランス】 マルセイユ09:00着 マルセイユ18:00発➔	午前、シャトルバスにてマルセイユの旧市街徒歩散策にご案内します。 午後、自由行動。	(船中泊) 朝昼夕
9	【スペイン】 バルセロナ07:00着 バルセロナ19:00発➔ イスタンブール23:30着	午前、バルセロナで下船し、世界で最も美しい音楽空間とも称される●カタルーニャ音楽堂、●カタルーニャ美術館などへご案内します。 夜、航空機にて、イスタンブールへ。	(機中泊) 朝昼機
10	イスタンブール02:00発➔ 東京19:20着	イスタンブールより、航空機にて帰国の途へ。 夜、羽田空港に到着。着後、解散。	機機□

ご旅行条件とご注意

■最少催行人数：10名様 ■食事：朝食7回、昼食8回、夕食7回 ■添乗員：羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：下船時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：見開き2ページ以上必要 ■旅行代金にはクルーズ関連諸税¥110,000は含まれておりません。 ■旅行代金には船内チップ(1泊あたり18米ドル、ペントハウス以上は23米ドル)は含まれておりません(船内での精算となります)。